

【コース】 良医への道4

【コースディレクター】

CD：柴崎 智美(医学教育学)

【コースの概要】

良医への道コースは、第1学年から第4学年まで段階的につづく重要なコースである。

優れた医師になるためには、自然科学－基礎医学－臨床医学の積み重ねで構築される知識と概念の体系をしっかりと修め、かつ最新の医療技術を兼ね備えることが要求される。さらに行動科学・医療倫理・社会科学（社会医学）・医療法学といった心理社会的な問題に対応するための様々な知識、技能や総合的に患者・生活者をみる姿勢を身につけていることが必要である。学生の皆さんの成長や習熟度に合わせつつ、学際的に学習し、自らが目指す医療人（医師）を目指して主体的に学ぶことを求めている。

既に第1学年から第3学年での良医への道コースを通じて、独立した大人としての、豊かな人間性、幅広い社会的・国際的視野、探求心と科学的思考能力を身につけるため、以下を重視した学習を進めてきた。

- 1) 独立した大人として自己を大切にし、他者も同様に大切にし、社会の一員として責任ある行動をとる。
- 2) 健全な批判精神を養う。
- 3) 種々の論理の整合性や多様な価値観のバランスをとって、現実的によりよい判断をする。
- 4) 幅広い教養を身につける。

第1学年から第3学年での学びを踏まえ、生涯にわたり自ら学習を続けることができる医師となる素地を身につけ、臨床実習に入るために十分な知識・技能（臨床推論力・臨床技能）・態度を修得する。

第4学年での良医への道コースは、下記の3ユニットによって構成されている。

ユニット1：行動科学と医療倫理

ユニット2：地域医療とチーム医療

ユニット3：医学英語

【目 標】

本コースの目標は以下の通りである。

*患者さんやその家族、医療スタッフに信頼される、優れた医師・臨床実習生（医学）となるために、疾病の社会・経済的側面、心理的側面に関する知識や医療安全に関する知識を臨床現場で応用するための方法を理解し、医療人としての適正な倫理観のもとに、病める人の気持ちを理解し共感できる態度を示すことができる。

*医師として社会から求められていることは何かを理解し、多職種連携能力、コミュニケーション力を修得して、医療チームの一員として活動できる準備を整える。

*医学・医療に必要な英語能力を身につける。

*自らのキャリアをより具体的にイメージし、そのための準備をする。

【学習方法】

詳細は各ユニットの項を参照すること。

【評価方法】

医学生としてふさわしくない態度、行動があった場合、評価の対象とせず、不合格とする。